

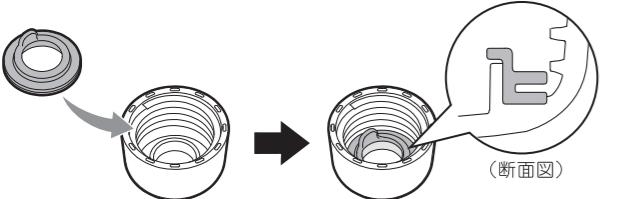
パッキンの取りつけ方

正しく取りつけられていないと、
もれの原因となります。

お手入れなどで、パッキンを取りはずした後は、次の内容を読んで正しく取りつける。

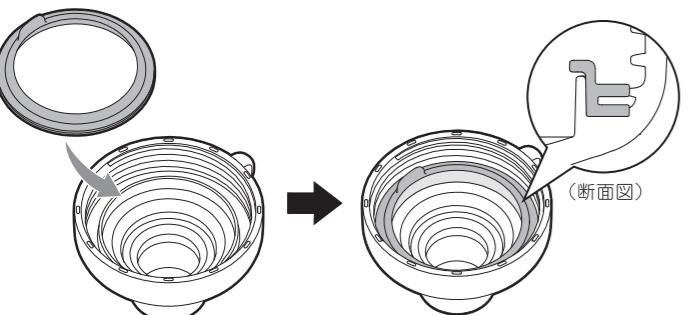
キャップパッキンの取りつけ方

キャップパッキンをキャップの凹部にはめこみ、指でまんべんなく押さえ、浮いてないことを確かめる。



せんパッキンの取りつけ方

せんパッキンをせんの凹部にはめこみ、指でまんべんなく押さえ、浮いてないことを確かめる。



※正しく取りつけないと、飲みものがもれる原因となります。

こんなときは

次の項目について確認をおこなってください。いずれの場合もあてはまらない場合は、お客様相談窓口へご相談ください。

症 状	確 認 す る と こ ろ	処 置
■せんセット からもれる	パッキンが正しく、しっかりと取りつけられていますか。	パッキンの取りつけ位置や方向、浮きがないことを確認してください。
	パッキンが汚れていませんか。	「お手入れ方法」を参考にし、お手入れをしてください。
	飲みものを入れすぎていませんか。	規定量になるまで飲みものを減らしてください。
	お茶の葉や果肉などの固体物が付着していませんか。	「お手入れ方法」を参考にし、お手入れをしてください。
■飲みもの (本体内側・せん) がにおう	飲みものを長時間入れたままにしたり、本体内側、せんセットやパッキンに茶しぶなどの汚れが付着していませんか。	「お手入れ方法」を参考にし、お手入れをしてください。汚れが落ちにくい場合はクエン酸をご利用ください。

※せん・せんパッキン・キャップ・キャップパッキンは消耗品です。
使用後半年から1年を目安にご確認ください。

アフターサービス部品について

本取扱説明書に記載されている製品の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後5年となっております。
その他、製品に関してのお問い合わせにつきましては、お買い上げの販売店もしくは弊社のお客様相談窓口にてご相談ください。

消耗部品のご購入について

製品型名・容量・色柄・部品の正しい名称をご確認のうえ、下記方法でお求めください。(製品型名は製品底面に貼ってあるシールに記載されています。)

- ①ホームページ…………トップページのオンラインショップからお求めください。(取扱部品が限られていますが、ご了承ください。)
- ②販売店……………ピーコック製品を取扱っている販売店でお取り寄せください。
- ③お客様相談窓口……お電話もしくはFAXにてお申込みください。

部品名
PPB型 キャップセット(キャップ、キャップパッキン)
PPB型 キャップパッキン
PPB型 せんセット(飲み口、せん、せんパッキン)
PPB型 せんパッキン

※各消耗部品については、各部のなまえの項目をご覧ください。

ホームページアドレス <https://www.the-peacock.co.jp>

お客様相談窓口

固定電話からはこちら

0570-094891
ナビダイヤル
※一般電話からは市内通話料金ご利用いただけます。

携帯電話からはこちら

06-6453-9489

- 受付時間 9:00~17:00 月曜日~金曜日(祝日・弊社休業日を除く)
- FAXでのお問い合わせ FAX番号 06-6453-9589
製品型名(品番)・お問い合わせ内容と、お客様のお名前・ご住所・電話番号・FAX番号を記入のうえ、お問い合わせください。



ピーコック魔法瓶工業株式会社

〒553-0002 大阪市福島区鷺洲5丁目12番20号

Peacock

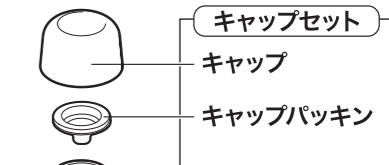
クリアボトル(ダブルウォール)
キャップタイプ

取扱説明書

このたびは、ピーコック製品をお買い上げいただきありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。また後々のため、この取扱説明書を大切に保管してください。

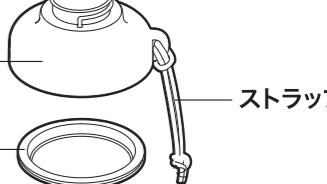
各部のなまえ

せんユニット



せんセット

飲み口



せん

せんパッキン

本体



取扱説明書中のイラストは、実際のものと異なる場合があります。

①

安全上のご注意

もれやあふれはやけどや他のものを汚す原因となります。

● 本品は飲料用ボトルです。本来の目的以外に使用しないでください。

● 乳幼児の手の届くところには置かない。また、いたずらに注意する。
やけど・けがのおそれ。

● ドライアイス・炭酸飲料など。
本体内の圧力が上がり、せんセットがあかなかつたり、飲みものがふき出たり、部品が破損してけがのおそれ。

● 耐熱温度(80°C)を超える熱さの飲み物。
破損や故障の原因。また、やけどのおそれ。

● 飲みものは、できるだけ早く飲みきる。
腐敗・変質の原因。また、長く放置した場合、腐敗変質によりガスが発生して、本体内の圧力が上がり、飲みものがふき出たり、部品が破損してけがのおそれ。

● ストーブやコンロなど火のそばに近づけない。変形・変色の原因。

● 飲みものは、規定量までにする。入れすぎると、もれ・あふれ・やけどなどのおそれ。

● 使用後、すぐにお手入れをする。外出時など十分なお手入れができないときでも、すぐに本体内側をよく水ですぐ。カビが発生する原因。

● 食器洗浄機、食器乾燥機などは使用しない。変形など故障の原因。

● 製品の横置きは避け、かばんなどに入れるときは本体を縦にする。
萬一のものを防ぐため、必ず縦にする。

● 倒したり、落としたりぶつけたり、強い衝撃を与えない。破損・飲みものがもれる原因。

● 熱いやかんなどの注ぐ容器を口部に触らせない。
転倒しやけどなどのおそれ。傷・変形の原因。

● 熱い飲みものを入れて使用するときは、
時間差で外側が熱くなるのでやけどに注意する。
二重構造のため、飲みものを入れてから時間差で外側が熱くなりやけどの原因。

● 熱い飲みものを入れた直後、本体をふらない。内圧が急に上がり
せんセットがあくくなったり、あけるとき、音がしたりする場合があります。

● 熱い飲みものを入れ長時間放置すると、内部が減圧され、
せんユニットがあくくなったり、あけるとき、音がする場合がある。

入絶
れ対
なに

● 熱い飲みものを入れて使用するときは、ゆっくり傾けながら
飲みものを飲む。急に傾けると飲みものが勢いよくで、やけどなどのおそれ。

● 大きな氷を入れる場合は、押しこまず小さくして入れる。また、
アイスピックなど先のとがったもので本体・せんユニットを突かない。
傷・もれ・変形など故障の原因。

● せんユニットは確実にしめて使用する。もれ・やけどなどのおそれ。

● パッキンは必ずつけた状態で使用する。もれ・やけどなどのおそれ。

● パソコン・携帯電話・デジタルカメラ等の精密機械と一緒に持ち運ばない。
萬一のものがあった場合、精密機械の故障の原因。

● 乗り物運転中は使用しない。
やけどをしたり、車内や衣服を汚す原因。運転者の場合、運転への注意が散漫となり危険。

● 缶ホルダーを使用する場合

①あらかじめ強度を確認してから使用する。強度が十分でない場合、
缶ホルダーがはずれたり破損して、やけどなどのおそれ。車内や衣服を汚す原因。
②市販の缶ホルダーは、据え置き型を使用する。ウインドウやエアコン吹出口に取りつける
吊り下げ型は、ホルダーがはずれる場合があるので使用しない。

● 改造や分解修理はしない。故障や事故の原因。

● 冷凍庫に入れれない。変形など故障の原因。

● 電子レンジでの加熱はしない。変形や変色の原因。

● 破損や故障時は使用しない。破損した欠片を誤飲したり、もれやけがの原因。

● ストラップを持ってふりまわしたり、無理な力を加えない。
破損やけがなどのおそれ。

● ストラップは本製品以外に使用しない。破損やけがなどのおそれ。

本体の中空層に水が入っている場合は、
使用しない。

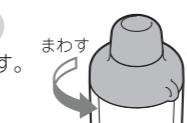
ひび割れなど、破損している可能性がある。
中空層にたまつた水が本体内側に侵入した場合、
飲んで体調不良を起こす原因。

ご使用方法

ご使用前にせんユニット・本体を
洗ってからご使用ください。

1 本体からせんユニットをはずす

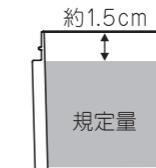
本体からせんユニットを矢印の方向にまわしてはずす。



2 飲み物を入れる

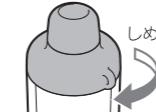
※ 飲みものは図の規定量までにする。

飲み物を入れすぎてせんユニットをしめると、飲み
ものがふき出したり後からもれ出ることがあります。
飲みものを入れすぎた場合は、規定量になるまで飲
みものを減らしてから、元どおりせんユニットをしめ
てください。



3 せんユニットをしめる

せんユニットを矢印の方向にまわしてしめる。
※ せんセット・キャップセットは確実にしめてください。



4 キャップセットをはずして飲みものを飲む

① 本体を立てた状態でキャップセットを矢印の方向にまわしてはずす。
② 飲み口に口をつけてゆっくり傾けながら飲みものを飲む。
※ 熱い飲みものを入れた場合は、やけどに注意してゆっくり飲む。



5 飲み終わったらキャップセットをしめる

本体を立てた状態でキャップセットを
矢印の方向にまわしてしめる。



お手入れ方法

- ◆ ご使用後は、必ずその日のうちにお手入れをする。
- ◆ お手入れをするときは、やわらかいスポンジ以外は使用しない。
- ◆ においを防ぐため、こまめにお手入れをする。

本体外側・せん・キャップ

水またはぬるま湯で薄めた台所用中性洗剤をスポンジに含ませて洗い、十分にすぎない後、すぐに乾いた布で水分をふきとる。
※ つけ置き洗いはしない。

本体内側

水またはぬるま湯で薄めた台所用中性洗剤を柄のついたスポンジブラシなどに含ませて洗い、十分にすぎない後は水分が残らないようよく乾燥させる。

パッキン

キャップやせんから取りはずし、水またはぬるま湯で薄めた台所用中性洗剤をスポンジに含ませて洗い十分にすぎない後、すぐに乾いた布で水分をふきとる。その後P.5(パッキンの取りつけ方)を参考にして、キャップやせんに確実に取りつける。(パッキン表面にゴミなどが付着していると、もれの原因)

ストラップ

水またはぬるま湯で軽く手洗いした後、すぐに乾いた布で水分をふきとり十分に乾燥させる。※ つけ置き洗いはしない。

※ 直射日光の当たる場所や、高温多湿の場所には保管しない。(変色の原因)

お手入れ上の注意

- お手入れ前によくお読みのうえ、必ずお守りください。
- 塩素系漂白剤は使用しない。材質が劣化するなど故障の原因。
- 本体内側に酸素系漂白剤を使用する際は、
せんユニットを取りつけない。
本体の内圧が上がり、せんユニットが飛び出すなど危険。
- シンナー・ベンジン・金属たわし・たわし・みがき粉・クレンザー・
化学ぞうきん・台所用以外の洗剤などは使用しない。
傷など故障の原因。
- 本体・せんユニットの煮沸および食器洗浄機、食器乾燥機
などの使用はしない。傷・変形・もれなど故障の原因。
- 本体は丸洗いでできますが、つけ置き洗い(水中に放置)はしない。
- 本体を丸洗いした後は、必ず水分をふきとる。
ふきとらないと、水滴のあとが残ったり、他のものを汚す原因。
- 長期間ご使用にならないときは、よくお手入れをして汚れを落とし、
十分乾燥させて高温多湿を避けて保管する。